

夢に向かって一歩ずつ

「らしさ」を磨く 2学期に

(前略) 特にいい成績を出せる選手ではなかった大谷少年ですが、打たれても、ヒットが出なくても、試合に出してもらえなくても、どうして毎日練習を続けられたのでしょうか？ わかる人、いるかな？

それは、「大好きな野球を楽しみたかったから」なのだそうです。ホームランを打てたら楽しいだろうな…。ストライクがいっぱい入ったら、楽しいだろうな…。試合に勝ったら、しかも、自分が役に立てて勝てたら、最高に楽しいだろうな…。 その為には、上手になりたい。じゃあ上手くなるには？

『毎日「一生懸命」を続けること』

それが、お父さんのアドバイスだったそうです。大谷選手は、上手になって野球を楽しみたい、という夢「願い」に向かって、毎日毎日「一生懸命」を続けた。そして、日本からアメリカに行って大リーガーになった今でも、「2刀流で1流になって 野球を楽しむ」為に、一生懸命を続けている。

自分の夢があって、それをどうしても実現させたい。 だから、うまくいかないこと、苦しいことがあっても 一生懸命取り組める。そんな大谷選手と、同じことをしている人が、実はこの治田小にもたくさんいるんです。って言ったら、みんなビックリするかな？

例えば、6組さんの治田小に咲く花調べ。4組～8組さんの、自分達が育てた畑の作物での料理作り。これぞ治田小の良さを活かした素敵な勉強。見つけたお花は、図鑑になるんだって。楽しみだな



例えば、1年生の朝顔さんと、クラスの歌作り。種から大切に育てた朝顔さん、綺麗な花をいっぱい咲かせて、応えてくれたね。2組さんの歌づくりは、自分のクラスの好きな所ややりたい姿を、話し合って作っているんだとか。是非聞きたいな

例えば2年生とうさぎさんの活動。迎える準備では、「気持ちのいいお家にしてあげたい」そして、ウサギさんが来てくれると、もうかわいくてかわいくて。ウチで健康観察、体重測定、毎日のお世話。ウサギさんの幸せのために、頑張る2年生です

例えば、3-1 治田小の歴史新聞づくりと、3-2 花の苗づくり。学校の歴史から、故郷の人の思いや大事にしていたものが見えてくるようだね。お花も、暑い中、水やりのお世話を頑張っているお友達を見ると喜んでくれている方のお顔が浮かぶようです。

例えば、4-1 「千曲かるた」 4-2 「治田池」の活動。千曲かるたの中には、治田らしさはどんな風になっているのかな？ 治田池はいったいどんな生き物がいて、水はどこから来ているのだろう。

どちらの活動も、「なるほど、そうだったんだ」が、いっぱい見つかるといいね。

例えば5年生の米作り 今、見直されている日本の米づくり。これからの農業について、皆さんの考えを聞かせてほしい。また、お世話になっている地域の米作り名人に、感謝をどう伝えていくのか、私はそこにも注目しています

例えば6年生と「楽しい学校づくり」。ジャンケン列車、楽しかったね。これから更に、姉妹学級交流や なかよしパークなど、皆が仲良くなれる企画を考えてくれています。6年生の優しくて、みんなのためにと頑張る姿は、憧れです。

そして、金管バンド。朝練習に放課後の自主練習。どうしてそんなに頑張れるのか、ある人にインタビューしてみたのですが、「全員の音が一つにまとまった時が、最高に気持ち良いから」



こうした治田小みんなの活動と、大谷選手に共通していることは、何だと思う？

一つ目は、「こうなりたいんだ」という、願いを持っていること

二つ目は、その願いの達成に向かって、一生懸命を続けていること

そして三つ目は、その夢への道は、失敗や苦労はきっとあるけれど、あきらめていないこと

みんな、大谷選手と同じでしょう。「夢中になれるものがある」って、楽しいだろうね。

「なりたい自分」に近づく為の苦労は、きっと苦労と思わない。

そしてもう一つは、さっき話したように、大谷選手は日記を書くことで、昨日よりできることが増えた自分に気がついて、少しずつ自信を溜めていった。大谷選手はそうやって、自分を成長させていったのだと思うのです。皆さんも、願いに向かってどんなチャレンジをして、どう考えるようになったのか、是非、記録を積み重ねてみてほしいです。

さあ、今日から2学期。治田小での毎日の中で、「こうなりたい」という夢・願いに向かって、夢中になれるもの、一生懸命を続けられるものを、皆さんがどうか、見つけられますように。

見つけられて、それに一生懸命になれた人は、あの大谷選手のように「らしさ」がどんどん磨かれ、輝いていくでしょう。治田小の2学期が、そんな2学期となりますように。わたしは、それを願っています。